



子供の顔をアップで撮りました。かわいい表情がはっきり伝わります。かろうじて写っている服で、ママの存在も予感できます。

背景にマンションや道路まで写っていますので、状況はわかりますが、表情は小さく見えません。



応用できます!



イマイチ

good!!



ポイント!

ズームは望遠にして撮影

ズームを望遠にすると、狭い範囲を大きく写せます。また、背景に写る範囲が少なくなりますので、画面がすっきりします。

写したい対象がはっきりしている場合は、ズームを望遠にして、画面一杯に被写体が入るように撮影してみましょう。逆に、撮影場所の状況を写したい場合は、ズームを広角にするのが基本です。

ズームは望遠(数字が一番大きい側)にします。

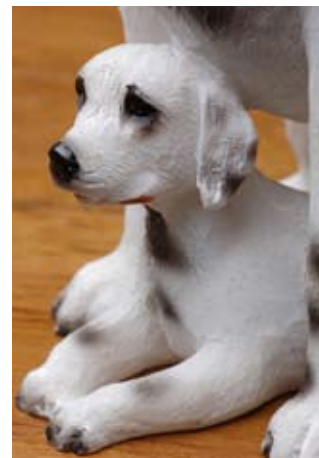


**全部見えないほうが、想像力を刺激するのです**  
撮りたいと思った被写体が、画面の中に全部写るようにするのが、撮影の基本です。  
例えば、人物を撮影する時に、顔の全体、あるいは全身が写るようにしないと、物足りない感じがするものです。見たい部分が写っていないと、欲求不満になるわけです。しかし逆に、見たくもない要素が画面の中に多く含まれている場合には、なにを見ればよいかのかわかりにくくなります。画面の中のどの要素を見せたかったのか、伝えなかったのかを、写真を見る人が考えなければなりませんので、見るだけで疲



マアマア

ます。見る気になりません。画面の中で写っていないくてもよい部分を大きく削り落とすように撮影してみましよう。本当に見たい部分だけを写すことで、画面が整理され、見やすい(伝わりやすい)イメージになります。  
極端な話、画面に写っていない部分があるからこそ、もっと見たくないので。写真を見る人の想像力をかきたてるようなイメージづくりを心がけてみましょう。



good!!

**[上]**  
母犬の顔だけをアップにしました。しかしこれだけだと、小犬の存在が隠れてしまいます。

**[下]**  
小犬をアップで写しました。母犬の前足が写っていますので、その存在は確実に伝わります。さらにどんな母犬か、想像してみたくくなります。